

日本人の思う水の存在

水道水をそのまま飲むことができ、蛇口をひねると透明なきれいな水がでてくる国は、地球上では少ない、とよく耳にします。しかし、水には困らない生活をしている日本人は、水で困った生活をしている他の国を想像することができない人が多いと思います。

でも、その日本人が毎日当然のように使っている水はどうやって自分のもとまできたのか、どうして水は自分のもとにあるのか、など、不思議に思うことがあります。

そこで、私は自分の住んでいる地域の人たちで行く浄水場へのバスツアーのような行事に四、五回参加しました。そこでは、蛇口をひねると出てくる透明で、人間が飲んでも害がない水になるまでの機械や、その機械がする動作などをしつかり教えてもらいました。そこで最も、浄水場のことで印象に残ったこ

奈良県立青翔中学校 一年

小倉 ゆうみ

とは、きれいな水を作るために、たくさんの人が頑張って働いているということです。この、浄水場へ行ったことで水があることは当たり前、水が使えるのは当たり前、水道水がそのまま飲めるのは当たり前と思っていたことを見直して、水があり、使え、飲めることのありがたさというものを感じて、しつかり考えようと思いました。

私の家では、外国人が数日間ホームステイをし、日本の文化を学ぶというようなことを受け入れていきます。それが、今までにアメリカ、台湾、ミャンマーと、三度ありました。ご飯作りに協力してくれる外国人は、水を使わない時はしつかりと水を止めることはもちろん、洗う物をするときには、洗い物用のプラスチックの容器に水をため、ある程度の量の食器を洗い流してから、容器の中の汚れた

水を流していました。水が汚れるまで何度も
使い、水を決してむだ遣いをしませんでした。
日本人と真反対のことをしていると思いまし
た。その時、私はその外国人を見て、あそこ
の国の人は少しの水も大切に使わなければな
らない可哀想な国だとは思えず、少しの水も
大切に使うことができるかしこい国だ、と思
いました。そこで私は、どれだけ水不足で困
っている国でも、少しの水を大切にできる国
は、水は豊富にあるが、あるだけの量をどん
どん使っていく国より格好良く、何でも物を
大事にしてそうで、素敵な国だと思いました。
このようなことから、私達日本人は、少し
の水でも大切に使用している国を見習うべきだ
と思いました。そうするためには、自分も今
までの生活を見直して、少しずつ水のむだ遣
いをしないようにしていきたいです。
水とは、生きているものすべてが必要と
するもので、人の命を助けることもできるも
のです。何年かたって、いつか全世界の人が
水不足ではなく、水に困らない生活ができ、
なおかつ水のむだ遣いのないような暮らしが
できるようになったらいいと思います。